

令和3年度

事業報告

社会福祉法人みどりの樹

もくじ

法人本部	1
多機能事業所ループ	10
生活介護事業所ループ歩	13
多機能事業所ループ奏	16
放課後等デイサービス事業所あざみ	18
日中一時支援事業所あるば	21
はまきた地域活動支援センター	22
特定相談支援事業所ぼるた	23
事業報告書の付属明細書	25

● 令和3年度 事業報告（法人全体）

はじめに（1年を振り返って）

あっという間に1年が過ぎ、月日の流れの早さを身を感じています。みどりの樹にとっては、法人設立20周年という節目を迎えた1年でした。コロナ禍の波に飲み込まれそうな難局もありましたが、利用者のみならず、ご家族、関係者の方々のご尽力とご協力により乗り越えてくることができました。

さて、今は情報社会と言われておりますが、常々正しい情報を正しくキャッチする力が必要だと感じています。世間に溢れている多様な情報を読み解く力を身につけ、積極的に情報を有効に活用していくことが必要だと感じています。

みどりの樹も少しずつではありますが、いわゆるIT化を進めています。今の時代に即した運営を模索しながら、これまでどおり大切にしてきた支援の在り方も大切に今後進んでいきたいと思っております。

（理事長 山下勝康）

I 基本理念、行動指針の浸透・遂行について

職員全体で常に意識して業務に当たれるよう、写真を差し込むなどしてポスターのように掲示できるようデザインし、各所事務所に掲示してあります。「地域」をより強く意識していけるよう、各事業所の重点目標に地域とのつながりを進めていくための具体的な取り組みを掲げました。

理念と行動指針の浸透に向けては、人事考課の評価項目の中で職員ごと認識できているか評価し、日頃の意識づけにつなげています。

II 令和3年度基本方針【「地域とのつながり」を考える（令和3年度スローガン）】総括

令和2年度の内部研修として、改めて「地域」という言葉を見直すことに取り組みました。その内容を踏まえて、事業所単位で特に事業所所在地の町内単位に焦点をあてて、具体的な取り組み活動を計画し、実践していきました。今後も常に地域づくりも使命のひとつと捉えていく土台作りになったと考えます。

III 重点取組【「支援の質」と「働きやすさ、働きがい」の両立を目指す】について

1 中期計画の立案

具体的な立案に着手することはできませんでしたが、法人設立20周年を迎えるにあたり、様々な角度からこれまでの歩みを振り返る機会になったので、次年度以降それらを踏まえた長期ビジョンを描いていくようにします。

2 組織再編

組織再編の準備として、グループウェアを導入し、各決裁フローの整理・簡略化・効率化を実現しました。このことにより、職務分掌が明確になり各人が責任と権限を認識できるようになりました。引き続き、マニュアルやルールの整備を進めていき、より実情に即した組織図を描いていくようにします。

3 人材育成システムの構築

人事考課制度のブラッシュアップについては、現行制度の課題の抽出に留まりました。組織図の再編と連動したキャリアパス、人事考課制度を確立し、職員個々が自身のビジョンを見出せるよう工夫してまいります。

4 地域とのつながり

コロナ禍が続き、限られた内容にはなりましたが、事業所単位で具体的取り組み目標を掲げ、1年を通して地域を意識した取り組みを行うことができました。

IV 事業内容と利用者実績

事業名	定員	目標値 (人/日)	実績 (人/日)	目標 達成率	稼働率 (定員対比)
就労移行支援(ライム)	6	3.0	0.4	46.7%	7.2%
就労継続B型(ライム・なないろカフェ)	20	22.0	20.2	91.8%	101.0%
自立訓練(生活訓練)みかん	10	5.0	1.4	28.0%	14.0%
生活介護(さつき)	18	18.5	17.0	91.9%	94.4%
生活介護(まつぼっくり)	12	12.0	10.4	86.6%	86.6%
生活介護(るるる)	10	10.0	9.6	96.0%	96.0%
就労継続B型(ららら)	10	9.0	8.4	93.3%	84.0%
放課後等デイサービス	10	10.9	9.8	90.0%	98.0%
日中一時支援	7	5.4	4.2	77.8%	60.0%
地域活動支援センター	(20)	10.0	7.6	76.0%	—
特定相談	—	36.0	47.0	130.6%	—
浜松市障害者相談支援事業	※浜北・天竜障がい者相談支援センターへ相談員派遣				

※自立訓練(生活訓練)みかんは、令和4年1月1日より休止しています。

※生活介護(さつき)は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、2月22日～27日まで稼働休止しました。

V 職員体制

()内は、指定配置基準常勤換算数

	多機能事業所ループ			生活介護事業所ループ歩		多機能事業所ループ奏	
	就労移行	継続B型	自立訓練	さつき	さつき	るるる	ららら
管理者	1 (1)			1 (1)		1 (1)	
サービス管理責任者	1 (1)			1 (1)		1 (1)	
就労支援員	1(1)	—	—	—	—		
職業指導員	1.5(1.1)	3.8(2.3)	—	—	—		
生活支援員			1.1(1.0)	7.5(3.6)	7.5(3.6)	3.0(1.7)	1.6(0.8)
訪問支援員	—	—	1(1)	—	—		
目標工賃達成指導員	—	1(1.0)	—	—	—		1 (1)
合計	2.5(2.1)	4.8(3.3)	2.5(2.1)			3.0(1.7)	2.6(1.8)

	放課後デイ
管理者（兼務）	1 (1)
児童発達支援管理責任者	1 (1)
児童指導員	4 (2)

	地域活動
管理者（兼務）	1 (1)
活動支援員（機能強化）	1 (1)
活動支援員（基礎事業）	2 (2)

	委託相談
相談員派遣	1 (1)

	あるば
管理者(兼務)	1 (1)
支援員	3

	特定相談
管理者（兼務）	1 (1)
相談支援専門員	2 (2)

VI 資金収支・財務状況

1 資金収支予算対比

() 内は、令和3年度当初予算

単位：千円(以下切り捨て)

	収入	支出	収支差額
事業活動による収支	245,062 (260,537)	233,731 (240,055)	11,331 (20,482)
施設整備等による収支	1,576 (0)	20,640 (19,098)	△19,064 (△19,098)
その他の活動による収支	185 (0)	386 (414)	△201 (△414)
当期資金収支差額	—	—	△7,934 (670)

() 内は、令和3年度当初予算

2 資産・負債の推移

単位：千円

	令和1年度	令和2年度	令和3年度	2・3年度対比
流動資産	111,381	119,131	111,386	△7,745
固定資産	303,756	290,447	285,177	△5,270
資産合計	415,167	409,578	396,563	△13,015
流動負債	29,700	33,460	34,793	1,334
固定負債	176,943	163,548	150,339	△13,209
負債合計	206,642	197,007	185,132	△11,875
純資産	208,524	212,570	211,431	△1,139

VII 寄付金、助成金の状況

寄付金 : 計 4件 485,422円 ※すべて、理事長決裁で頂戴いたしました
 助成金 : ・市川園社会福祉基金 300,000円 (ライムエアコン購入費)
 ・小塩財団報恩会 1,276,000円 (さつきエアコン購入費)

VIII 施設整備、大規模修繕、固定資産整備

事業所名	種別	金額 (円)	詳細	財源
本部拠点	固定資産	581,570	駐車場入口コンクリ敷工事	自己資金
ループ	固定資産	1,024,870	ライム作業棟エアコン入れ替え (2台)	市川園助成金 (一部)
ループ歩	固定資産	1,276,000	さつき作業棟エアコン入れ替え (3台)	小塩財団助成金 (全額)
	固定資産	836,000	まつばつくり砕石駐車場工事	自己資金
	固定資産	143,000	まつばつくり利用者ロッカー入れ替え	自己資金
ループ奏	固定資産	3,411,065	駐車場用土地購入・整備 (舗装) 一式	自己資金

IX 借入金及び借入金償還実績

借入先	当期償還額	利息	利息補給	当期末残高	使途
福祉医療機構	6,072,000	723,848	0	74,382,000	本部拠点建物新築工事
静岡銀行	3,816,000	567,001	556,000	25,744,000	
静岡銀行	3,480,000	343,463	0	60,490,000	ループ奏新築工事

単位：円

※利息補給は、NPO法人活木活木森ネットワーク「木造公共建築物の整備資金等の借り入れに係る利子助成事業」

X 生産活動

	実績値 (円)	計画値 (円)	目標達成率
弁当	17,021,502	17,000,000	100.1%
喫茶 (なないろカフェ)	4,942,726	4,500,000	109.8%
下請け、他	4,159,959	4,000,000	107.1%
ループ計	26,248,382	25,500,000	103.3%
さつき下請け	1,127,031	1,550,000	72.7%
クッキー (さつき)	1,244,810	1,300,000	95.8%

パン・クッキー(まつぼっくり)	6,065,405	5,900,000	102.8%
その他(まつぼっくり)	3,200	5,000	64.0%
ループ歩計	8,440,446	8,755,000	96.4%
下請け	1,193,059	1,450,000	82.3%
天竜高校	2,228,774	3,500,000	63.7%
ループ奏計	3,421,833	4,950,000	69.1%

XI 会議

1 理事会

日時・回	内容	
5月31日(月) 第1回理事会 (定時理事会)	議決事項	1、令和2年度事業報告および決算報告・監事監査報告 2、評議員会付議事項 3、定款の変更について 4、経理規程の変更について 5、就業規則の変更について 6、賃金規程の変更について 7、育児・介護休業等に関する規則の変更について 8、評議員選任・解任委員の選出について 9、次期役員候補者の選定について
	報告事項	1、評議員選任・解任委員会開催報告、評議員選任報告 2、理事長業務執行報告 3、ループ奏駐車場用地購入手続き進捗報告 4、令和2年度福祉充実残額について
6月16日(水) 第2回理事会 (臨時理事会)	議決事項	1、理事長の選任について 2、業務執行理事の選任について
	報告事項	1、令和3年度第1回評議員会開催報告 2、ループ歩(さつき)土地賃貸借契約内容の変更について
11月25日(木) 第3回理事会 (定時理事会)	議決事項	1、自立訓練(生活訓練)事業の一時休止について 2、令和3年度1次補正予算 3、ぼるた運営規程の変更について
	報告事項	1、理事長業務執行報告 2、監事監査報告 3、法人設立20周年記念イベントについて
3月17日(木) 第4回理事会 (定時理事会)	議決事項	1、令和3年度2次補正予算 2、令和4年度当初予算 3、令和4年度事業計画について 4、管理者の人事について 5、賃金規程の変更について 6、処遇改善加算金の支給に関する規程について 7、特定処遇改善加算金の支給に関する規程について 8、評議員選任・解任委員会運営細則の変更について 9、虐待防止委員会運営細則について
	報告事項	1、令和3年度社会福祉施設等の指導監査報告

	2、新型コロナウイルスの感染について
--	--------------------

2 評議員会

日時・回	内容				
6月16日(水) 第1回評議員会	<table border="0"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">議決事項</td> <td>1、令和1年度計算書類及び財産目録の承認 2、理事・監事の選任について 3、定款の変更について</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">報告事項</td> <td>1、令和2年度事業報告及び監事監査報告 2、社会福祉充実残額の計算結果について 3、評議員選任・解任委員の選出について</td> </tr> </table>	議決事項	1、令和1年度計算書類及び財産目録の承認 2、理事・監事の選任について 3、定款の変更について	報告事項	1、令和2年度事業報告及び監事監査報告 2、社会福祉充実残額の計算結果について 3、評議員選任・解任委員の選出について
議決事項	1、令和1年度計算書類及び財産目録の承認 2、理事・監事の選任について 3、定款の変更について				
報告事項	1、令和2年度事業報告及び監事監査報告 2、社会福祉充実残額の計算結果について 3、評議員選任・解任委員の選出について				

3 管理者会議

日時・回	内容
4月5日(月) 第1回	1、新型コロナウイルスについて 2、人事について 3、法人所有携帯電話の取り扱いについて 4、体制届作成について 5、法人パンフレットリニューアルについて
5月10日(月) 第2回	1、人事について 2、決算スケジュール確認 3、コンプライアンス研修について 4、事故報告 5、相談初任者研修、手話奉仕員養成講座受講者選定
6月7日(月) 第3回	1、新型コロナウイルスについて 2、人事について 3、外部研修受講について 4、20周年記念事業について
7月7日(水) 第4回	1、新型コロナウイルスについて 2、人事について 3、永年表彰推薦者選定 4、グループウェアの導入について 5、委員会活動進捗・課題共有 6、20周年記念事業について 7、救急救命講座受講について
8月5日(木) 第5回	1、新型コロナウイルスについて 2、人事について 3、小塩財団助成金申請 4、自立訓練(生活訓練)事業の今後について 5、20周年記念事業について
9月6日(月) 第6回	1、新型コロナウイルスについて 2、人事について 3、半期報告 4、20周年記念事業について 5、委員会構成員の再編について
10月4日(月) 第7回	1、理事会までのスケジュール確認 2、人事について 3、自立訓練の休止について 4、グループウェアの運用について 5、PCの持ち帰りについて 6、20周年記念事業進捗共有 7、災害時用避難トイレの整備について
11月1日(月) 第8回	1、人事について 2、個人情報の取り扱い、許可について 3、鍵の貸与について 4、あざみ実地指導延期と市の動向 5、法人全体会議の開催について 6、サビ管更新研修受講者選定 7、監事監査報告
12月7日(月) 第9回	1、年度末までのスケジュール確認 2、定員遵守への対応、情報共有 3、ほっとラインの今後の担当者と役割について 4、地活の在り方再編検討 5、今年度の書類溶解処分について 6、利用者の送迎体制について

1月6日(木) 第10回	1、人事について 2、事業計画の内容について 3、職員個別目標の設定について 4、内部研修の在り方について
2月3日(木) 第11回	1、人事について 2、事業計画の内容について 3、虐待防止委員会の設置について 4、利用者のワクチン接種について 5、各事業所のパンフレット作成について 6、次年度研修計画について
2月22日(火) 第12回(臨時)	1、新型コロナウイルスについて 2、次年度体制について
3月7日(月) 第13回	1、新型コロナウイルス感染状況と対策の共有 2、新規採用面接について 3、次年度委員会体制について

4 運営会議

日時・回	内容
4月28日(水) 第1回	1、月次報告 2、委員会報告 3、新型コロナ状況確認 4、今年度の運営会議の進め方について 5、20周年記念事業について
5月26日(水) 第2回	1、月次報告 2、委員会報告 3、新型コロナ状況確認 4、自立支援協議会の説明と実情報告 5、各所携帯電話の使用状況共有 6、法人パンフレットのリニューアルについて 7、20周年記念事業について
6月23日(水) 第3回	1、月次報告 2、委員会報告 3、新型コロナ状況確認 4、ZOOM会議時の議事録のとり方、周知の方法について
7月28日(水) 第4回	1、月次報告 2、委員会報告 3、新型コロナ状況確認 4、つうしん20周年記念特別号の内容について
8月25日(水) 第5回	1、月次報告 2、委員会報告 3、新型コロナ状況確認 4、浜北区定例会報告 5、20周年記念事業進捗報告 6、グループウェア導入説明
9月29日(水) 第6回	1、月次報告 2、委員会報告 3、スタッフ用名札の導入について 4、20周年記念事業進捗報告 5、土日開所日(余暇支援)の過ごし方について
10月27日(水) 第7回	1、月次報告 2、委員会報告 3、職員ストレスチェック取り組みについて 4、今年度のクリスマス会について 5、法人Tシャツリニューアルについて 6、障がい者週間啓発事業について 7、復泉会つながり動画について
11月24日(水) 第8回	1、月次報告 2、委員会報告 3、次年度の委員会体制について 4、可燃ごみの出し方について
12月22日(水) 第9回	1、月次報告 2、委員会報告 3、次年度委員会体制について 4、年末年始に向けて、事務処理スケジュールの確認
1月27日(水) 第10回	1、月次報告 2、委員会報告 3、法人監査指摘事項報告、対策共有
2月23日(水) 第11回	1、月次報告 2、委員会報告 3、新型コロナウイルス感染状況報告 4、事故報告・ヒヤリハット報告の分析と検証 5、浜名高校購買部について

3月23日(水) 第12回	1、月次報告 2、委員会報告 3、次年度体制について 4、採用活動進捗共有 5、次年度委員会構成員について
------------------	--

5 法人全体会議

日時・回	内容
6月23日(水) 第1回	1、理事会報告(決算報告) 2、安全運転の徹底について 3、就業規則変更に伴う協定書労働者代表選出 4、20周年記念事業について
12月15日(火) 第1回	1、理事会報告 2、自立訓練(生活訓練)事業一時休止と地活の再構築について 3、応急手当WEB講習受講確認 4、協定書代表者選定
3月24日(水) 第2回 (リモート開催)	1、理事会報告 2、苦情解決研修(コンプライアンス委員会) 3、「SDGsを知ろう」研修(製品品質向上委員会) 4、各協定書労働者代表選出 5、次年度の処遇改善手当、交付金手当について 6、「まとめて福利厚生」について

XII 委員会活動

委員会	実施日	内容・実績
防災	5/18、6/8、7/13、8/18、9/14、10/12、 11/9、12/17、1/12、2/8、3/8	・救命救急講習計画・実施(eラーニング) ・簡易トイレ整備 ・耐震固定状況の確認と整備(継続中)
コンプライアンス	5/17、6/21、7/20、8/16、9/21、10/18 11/22、12/20、1/21、2/21、3/22	・ヒヤリハットの集計と検証 ・ストレスチェックの導入 ・職員研修「苦情解決について」 ・虐待防止研修報告 ・ほっとラインの運営
研修	5/13、6/1、7/6、8/5、9/8、10/7、11/8、 12/20、1/13、2/9、3/14、4/5	研修の企画・準備
	10/31	職員全体研修「自己を知る」
	6、9、1、3月の計4回 2回実施	ケース検討会 研修報告会(ファシリテーション、強度行動障害)
広報	4/15、5/20、6/24、7/16、8/19、9/21、 10/21、11/18、12/16、1/20、2/17、3/16	・みどりの樹つうしん編集・発行業務 ・ホームページ更新管理 ・法人全体パンフレット完成 ・名札の作成について検討・着手 ・写真・動画の承諾書について検討・着手
製品品質向上	5/14、6/11、7/9、8/20、9/10、10/8、 11/12、12/17、1/14、2/18、3/18、4/15	・製品パンフレットの作成 ・浜名高校購買部の状況把握と対応検討 ・新商品開発への助言 ・SDGsについての学習会

XIII 監事監査実施状況

監査内容	実施日	監査内容、担当監事
令和2年度決算監査	令和2年5月21日(金) (指摘事項なし)	会計監査 : 山崎陽司 業務監査 : 遠山秀敏
令和3年度定期監査	令和2年10月28日(木) (指摘事項なし)	事業計画進捗、ループ奏実地 業務監査 : 山崎陽司

XIV 地域における公益的取り組み

1 地域における公益的取り組みについて

事業計画では例年通り「照個屋」を催し、地域の方々の交流の場、お子さんから高齢の方まで多様な方に楽しんでいただく企画を予定しておりました。

ただ、当年度については、前年度に引き続き新型コロナウイルスの感染蔓延により、多くの方が集う場面の提案が難しく、予定通りの開催を断念せざるを得ませんでした。

2 20周年記念イベントについて

今年度は法人設立20年の節目の年でしたので、これまでかかわってくださった方々や地域の方々に感謝の気持ちをお伝えすべく、コロナ禍でもできる20周年記念事業を展開しました。

『ありがとう～これまでも・これからも』をキャッチコピーに掲げ、20周年記念ロゴを作成し、記念品の配布を行いました。ロゴを公用車のステッカーにしたり、職員各人の名刺に入れ込んだりし、PR活動等にもつなげました。予定していた記念動画の作成は、感染予防対策の観点から今回は実施を見送りました。

XV 苦情・ヒヤリハット・事故状況

1 苦情受付と結果

7月30日	個人情報の取り扱いについて(利用者より)	7月31日 解決済	地域活動支援センター
-------	----------------------	-----------	------------

2 ヒヤリハット報告

レベル0	間違った事が実施される前に気づいた	99
レベル1	間違った事が実施されたが、利用者棟には変化がなかった	514
レベル2	利用者等に変化が生じ、一時的な観察が必要となったが、治療・対処の必要がなかった	75
	合計	688

3 事故報告

レベル3a	事故のため一時的な治療・対処が必要となった	14
レベル3b	事故のため継続的な治療・対処が必要になった	7
レベル4a	事故により長期にわたり治療・対処が続く	1
レベル4b	事故による障害が永続的に残った	0
	合計	22

● 多機能事業所ループ

I 総括

就労定着支援事業をはじめ就労支援施策が増々手厚くなっていき、地域として就労支援の中でも事業所間で役割と特色を認識し合い、相談支援事業所も含めた協働がより一層求められるようになってきていると感じています。その中でループが地域から期待されている役割を改めて見返す1年となりました。

コロナ禍の影響もあってか、新規利用希望される方が例年に比べ少なめでしたが、ひとりひとりにとっての「はたらく意味」を丁寧に見出し、自分らしさを発揮できるよう頑張るところ楽しむところのメリハリをもって過ごせるよう心がけました。また、一般就労への希望についても丁寧に取り組み、数年越しで実現に至ったケースもありました。

就労移行支援と就労継続支援 B 型の多機能事業である特色を生かし、また作業所がルーツにあることを大切にしながら、はたらくことに対しての多様なニーズに対応していける事業所を目指し、一方で必要に応じて他機関と密な連携をとり、利用者ご本人の自己実現に向けて寄り添い続けていきたいと考えています。

自立訓練（生活訓練）事業を今年度途中で一時休止にしましたが、常に地域ニーズを察知していきながら、今後どんなサービス展開が必要とされているのか検討を続けていきたいと思っています。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

就労移行支援

常に定員を割っている状況にあり、特化プログラムの SSP を実施することができませんでしたが、面談や関係機関との連携を通して、1名の利用者が一般就職(クローズ)に結びつきました。また、7月に1名、10月に3名の計4名の就労アセスメントを実施しました。既就職者のフォローアップでは、昨年度に続き、職場訪問や電話での相談・調整を通して、迅速に対応することで、ご本人とも企業とも困った時には頼っていただける関係を大切にしました。

また、地域とのつながりを意識し、他事業所や他機関が集まる研修や会議に積極的に参加して、情報共有や関係づくりに努めました。利用者の就職活動においては、他機関と新たな関係が築かれ、連携をしました。

就労継続支援 B 型（ライム）

1名の利用者が一般就職に結びつきました。一人ひとりが元気にあいさつすることができるよう、あいさつを習慣化させるための声掛けや仕組みづくりを行いました。また、利用者の”やりたい”、”がんばりたい”を引き出すため、新たな仕事の切り出しや機会の提供を行いました。利用者が新しい仕事に挑戦したり、より多くの場面で関わるができるよう作業工程を工夫したりすることで、“できた”頑張った“やったあ”などと利用者がはたらく喜びややりがいを感じることにつながりました。生産活動において、下請け作業では、昨年度同様の作業を継続していただくことができました。一部の作業は現利用者の状況に合わせて調整し、取引を終了するもの、新しく始めるものがありました。弁当事業では、昨年同様、仕出しの予約・イベントへの出店件数が減少しましたが、市内の学童クラブや福祉施設などからの問い合わせが増加したことで、新規の顧客獲得に

つながりました。調理場の体制や仕組みを改善しながら、新メニューの開発や天竜高校の販売メニューの追加なども行いました。

地域とのつながりについては、“元気にあいさつをする“ということを特に意識して行いました。地域の方々には、朝の散歩時などに元気に挨拶することで、あいさつを返してもらったり、気にかけてもらったりすることがありました。尾島地区の皆様や下請け作業をいただいている企業様、お弁当を注文しているお客様などには、法人設立 20 周年に際し、感謝の気持ちを伝えるための活動や取り組みをしました。

就労継続支援 B 型（なないろカフェ）

「なないろカフェ、何だか変わった気がする。」とプラスに見てもらい且つ、お客様に認知・利用して頂けるように、皆で何ができるのか考案してアクションし続けた一年間でした。具体的には店内の配置換え、日替わりテイクアウトの推進、季節に合わせた商品開発、SNS の発信など。新しいことに挑んだ分、利用者の皆さんには様々な作業内容の変更や目新しい出来事ばかりで大変にさせてしまったかもしれません。しかし、新しい事にチャレンジする度に一人一人の新たな発見、より輝く部分があることに気付きました。特に浜北区役所の職員から商品配達やメニュー表配布している様子を見て「皆さん、頑張っていますね。」とお声を頂いたときは皆の頑張りが伝わっていることがわかりました。地域交流の面ではコロナ禍で大きな動きが出来なかった分、SNS (Instagram) 投稿を定期的に行い、フォローユーザーや他事業所の動きや反応をチェックし分析。投稿を見て来店してくれるパターンもあるので、今後もなないろカフェの可能性を広げる重要なツールになると確信を持ちました。

自立訓練（生活訓練）（みかん）

令和 4 年 1 月より、事業を一時休止することにしました。既存サービスだけでは受けとめきれない、埋もれてしまいがちなケースに対して積極的にアプローチしていく所存で活動を続けてきましたが、2 年間という有期限のサービスであることも影響してか、なかなか内容について認知されきらず、サービス選択の中で視野に入れていただくことが難しい状況が続きました。既存の利用者の方々にはご迷惑をおかけした面もありますが、相談支援専門員等にもご協力いただき、極力丁寧な事業としてのクロージング、ご本人のニーズを引き続いて充足し得る他サービスへの移行等を進めました。

今後は、法人内の地域活動支援センターの機能・在り方をテコ入れし、自立訓練で担おうと考えていたニーズへの対応も一部していけるように検討していきます。

III 行事、防災訓練実施等

4 月	防災訓練(水害想定)
5 月	手巻き寿司を作ろう、スープとおこわを食べよう
6 月	防災訓練(地震想定)、20 周年のお祝い
7 月	プチイベント(七夕)、草刈り隊、かき氷を食べよう
8 月	大掃除
9 月	なし
10 月	秋まつり、プチイベント(ハロウィン)

11月	積志中学校にて発表、体育館で遊ぼう
12月	防災訓練(地震想定)、クリスマス会、大掃除
1月	初詣、ライムでランチ
2月	プチイベント(節分)
3月	防災訓練(なないろカフェ)

IV 生産活動

1 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
弁当事業	17,021,502	17,000,000 円	100.1%
喫茶事業	4,942,726	4,500,000 円	109.8%
下請事業	4,284,154	4,000,000 円	107.1%
合計	26,248,382	25,500,000 円	103.3%

2 工賃支払実績

	就労継続支援 B 型		就労移行支援		自立訓練 (生活訓練)	
	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額
2 年度	7,572,141	24,038	473,846	24,939	203,473	3,281
3 年度	7,599,095	25,480	92,597	9,956	77,877	1,947

時給設定 ① 320 円 ② 270 円 ③ 170 円

ボーナス 夏季 5,000~3,000 円 冬季 10,000~5,000 円 決算 20,000~10,000 円 ※作業従事率による

業務手当 調理場手当 1日 200 円 (調理場担当者、弁当箱洗い当番、集計係に支給)

皆勤手当 ①2,000 円/月 ②1,000 円/月

V 利用者状況

事業	稼働日	就労移行			就労継続支援 B 型			自立訓練 (生活訓練)		
		延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比	延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比	延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比
4 月	22	14	0.6	10.6%	419	19.0	95.2%	69	3.1	31.4%

5月	21	13	0.6	10.3%	392	18.7	93.3%	51	2.4	24.3%
6月	22	18	0.8	13.6%	439	20.0	99.8%	59	2.7	26.8%
7月	23	17	0.7	12.3%	465	20.2	101.1%	46	2.0	20.0%
8月	20	6	0.3	5.0%	413	20.7	103.3%	35	1.8	17.5%
9月	22	9	0.4	6.8%	473	21.5	107.5%	44	2.0	20.0%
10月	22	24	1.1	18.2%	471	21.4	107.0%	18	0.8	8.2%
11月	22	5	0.2	3.8%	445	20.2	101.1%	15	0.7	6.8%
12月	23	1	0.0	0.7%	468	20.3	101.7%	23	1.0	10.0%
1月	20	2	0.1	1.7%	376	18.9	94.5%	0	0	0%
2月	20	0	0.0	0.0%	418	20.9	104.5%	0	0	0%
3月	22	3	0.1	2.3%	441	20.0	100.2%	0	0	0%
合計	259	112	0.4	7.2%	5222	20.2	100.8%	360	1.4	13.9%

● 生活介護事業所ループ歩

I 総括

さつきは生産活動の下請け作業において、新型コロナウイルス感染拡大の影響により作業量の減少もあり売上目標に届きませんでした。クッキー作業において、日々の売上状況を把握し、納品を行うことにより売上目標の達成に繋げることができました。また、2月に新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生しました。事業所内感染も発生し、施設内での感染者数は最終的に10名となりました。保護者の皆様のご協力もあり、感染拡大予防のために2月22日～27日まで稼働を休止することで、施設内での感染に留めることができました。

まつぼっくりはコロナの影響を受けながらもその都度今できることを考えて進んできた一年でした。法人20周年を記念し、日頃お世話になっている配達先やボランティアさんへ手紙を書いて感謝の気持ちを伝えたり、9月にはパンの20円引きセールを行ない、たくさんのお客様に注目してもらうことができました。

令和4年度も引き続きコロナに負けない元気な一年にしていきたいと思います。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

さつき

利用者の特性を再確認しつつ、本人が主体的に役割を担える場面を増やすことができました。また、職員間で均質化した支援をこころがけ、事故を未然に防ぐための声掛けや環境整備に取り組みました。利用者の突発的な行動を予測しきれずに発生した事故もあったため、今後も継続した課題として取り組んでいきます。

生産活動において、作業に取り組む時間が少しでも伸ばせるよう、新規の作業を取り入れることにより、選択の幅を広げる試みを行いました。また、利用者の作業に取り組む様子を確認しながら、状況に応じて治具を提供することにより、作業の定着化を図りました。

余暇活動において、前年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大による様々な制限があるなかで、季節の行事に合わせた企画やカラオケ、DVD鑑賞など室内でも楽しめるよう取り組みました。また、人が密集する空間を避けるなどの感染予防を徹底し、外出をする機会を設けました。レクリエーション活動に散歩を取り入れることにより、地域の方々と関わりを持つ機会や、利用者の日々の運動不足解消や気分転換に繋げる機会を継続して提供していきます。

まつぼっくり

作業活動は昨年引き続きコロナの影響により売上を伸ばすことはできませんでしたが、地域の方へチラシをポスティングしたり回覧板に入れていただいたりすることで、近所の方々が頻繁にパンを買いに来てくださいようになり、そこで交流ができるようになりました。新商品のパンも開発し、お客様からの反応も良く売上に繋げることもできました。また例年通り廃品回収を年に4回行ない、今年度は利用者に当番を担当してもらうことで近所の方々と交流し顔を覚えていただくことができました。

外出がままならない状況のため、季節の行事を取り入れ利用者が楽しめる企画を考えることができました。後援会であるまつぼっくりの会が主催する「まつぼっくりカフェ」に参加し創作活動を楽しんだり会のメンバーと関わりをもつことで、手話を覚えたり職員利用者ともに良い刺激を受けることができました。

日常的には利用者の発信を受け止め、状況をお互いに報告・相談し統一した質の良い支援の向上に努めることができました。

III 行事、防災訓練実施等

4月	保護者会（ま） カラオケ&おにぎり作り（ま）
5月	保護者会（さ） 外出(都田公園)（さ）カラオケ（さ）外出(ガーデンパーク)（ま） クレープ作り（ま）
6月	防災訓練（さ） 廃品回収&パン安売りデー（ま）
7月	外出(浜名湖ガーデンパーク)（さ） 外出(小國神社)（さ・ま） カラオケ（さ・ま）
8月	夏祭り（さ・ま） 森林公園&なないろカフェでランチ（ま） 四季彩堂にてワークショップ（ま） 外出(ガーデンパーク)（さ） 避難訓練（ま） 大掃除&お疲れ様会（ま）
9月	西部ふれあいレクリエーション大会（ま・さ） つみいしづか広場&万葉の森（ま） お月見会（ま） 映画鑑賞（さ） カラオケ（さ） 廃品回収&パン安売りデー（ま）
10月	運動会（さ） 水害避難訓練（ま） ハロウィンパーティー（ま） 外出(浜名湖ガーデンパーク)（さ）
11月	元気ライブ（さ） 外出(浜松市動物園)（ま） まつぼっくりカフェ（ま） 健康診断（さ、ま）

12月	避難訓練(さ) 地域防災訓練(さ) 廃品回収&パン安売りデー(ま) カラオケ(ま) クリスマス会(さ・ま) お疲れ様会(さ・ま)
1月	初詣(さ) 新年会(ま) 焼き芋&カレンダー作り(ま) 歯科健診(ま) 外出(ガーデンパーク)(さ) デイキャンプ(さ) まつぼっくりカフェ(ま)
2月	節分(さ・ま) チョコレート作り(ま) まつぼっくりカフェ(ま) 水害避難訓練(さ)
3月	カラオケ(さ) ひなまつり(ま) 廃品回収&パン安売りデー(ま)

IV 生産活動

1 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
さつき(下請)	1,127,031円	1,550,000円	72.7%
さつき(おからクッキー)	1,244,810円	1,300,000円	95.8%
まつぼっくり(パン・クッキー)	6,065,405円	5,900,000円	102.8%
まつぼっくり(その他)	3,200円	5,000円	64.0%
合計	8,440,446円	8,755,000円	96.4%

2 工賃支払実績

	さつき		まつぼっくり	
	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額
2年度	1,104,835円	4,446円	2,209,747円	16,737円
3年度	1,028,861円	4512円	2,145,844円	13,755円

V 利用者状況

事業 月別	稼働日	さつき			まつぼっくり			ループ歩 計		
		延利用者数	1日平均	稼働率	延利用者数	1日平均	稼働率	延利用者数	1日平均	稼働率
4月	22	415	18.9	105.0%	242	11.0	91.7%	657	29.9	99.7%
5月	20	361	18.1	100.5%	206	10.3	85.8%	567	28.4	94.5%
6月	22	406	18.5	102.7%	246	11.2	93.2%	652	29.6	98.8%
7月	23	395	17.2	95.4%	241	10.5	87.3%	636	27.7	92.1%
8月	21	348	16.6	92.1%	202	9.6	80.2%	550	26.2	87.3%

9月	22	384	17.5	97.0%	208	9.5	78.8%	592	26.9	89.7%
10月	23	402	17.5	97.1%	244	10.6	88.4%	646	28.1	93.6%
11月	22	365	16.6	92.2%	232	10.5	87.9%	600	27.3	90.1%
12月	22	382	17.4	96.5%	239	10.9	90.5%	621	28.2	94.1%
1月	20	338	16.9	93.9%	202	10.1	84.2%	540	27.0	90.0%
2月	20	266	13.3	73.9%	201	10.1	83.8%	467	23.4	77.8%
3月	22	345	15.7	87.1%	233	10.6	88.3%	578	26.3	87.6%
合計	259	4407	17.0	94.5%	2696	10.4	86.7%	7103	27.4	91.4%

※さつき … コロナウイルス感染拡大予防のため、2月21日～27日まで稼働休止

● 多機能事業所ループ奏

I 総括

年間通して新しいメンバーが少しずつ増え、さらに活気にあふれた年となりました。また、見学の問い合わせや特別支援学校の実習のご希望も多くいただき、特に生活介護の地域でのニーズの高さを実感しました。一方、さまざまな特性のある方に利用していただくようになることにより、事業所全体としての課題もいくつか生じてきました。次年度も引き続き丁寧に検討を重ねていきます。生産活動においては、コロナ禍の影響が顕著だった前年度と比較すると、下請作業での受注が伸び、作業の時間が充実しました。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

生活介護（るるる）

前年度と比較すると安定した作業量が確保できたこともあり、作業の時間が充実しました。各々のペースで作業に取り組めるよう、取り組み方を考えました。レクリエーションについては、それぞれの参加の仕方を尊重し、ひとりひとりにとって充実した時間となるように努めました。地域での行事には、コロナ禍ということもあり残念ながら参加の機会がありませんでしたが、散歩に出際には声をかけていただくこともあり、知っていただける機会にはなったのではないかと考えます。

就労継続支援 B 型（ららら）

下請作業については、コロナ禍の影響が顕著だった前年度と比較すると、安定した作業量を確保することができました。様々な種類の作業に触れることで、利用者個々が自分の得意・不得意を知ることにつながり、得意なことについては、やりがいだと感じることも繋がりました。生活力については、日々の掃除を通して身に着けることができました。一方、コロナ禍ということで、他事業所とのプログラムの連携は実現できませんでした。前年度に引き続き、週に1度、ストレッチや散歩の時間を設け、メリハリをつけて過ごせるようにしました。散歩の時間にはあいさつやごみ拾いをし、地域の方に知っていただくことや環境整備に努めました。

III 行事、防災訓練実施等

4月	カラオケ大会
5月	こどもの日（クラフト・お菓子） 映画鑑賞
6月	なし
7月	避難訓練 ランチ会（なないろカフェ）
8月	大掃除・暑気払い おでかけ（小國神社）
9月	おやつ作り（ワッフル） 敬老の日プレゼント作り
10月	ウォーキング（森林公園） 映画鑑賞
11月	カラオケ大会 おでかけ（浜松城公園）
12月	クリスマス会 大掃除
1月	カラオケ大会 初詣・お正月遊び
2月	バレンタインスイーツ作り 映画鑑賞
3月	おでかけ（ガーデンパーク）

IV 生産活動

1 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
下請け	1,193,059 円	1,450,000 円	82.3%
天竜高校	2,228,774 円	3,500,000 円	63.7%
合計	3,421,833 円	4,950,000 円	69.1%

2 工賃支払実績

	ららら		るるる	
	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額
2年度	1,097,837 円	8,409 円	142,275 円	1,285 円
3年度	1,262,360 円	8,085 円	246,105 円	1,964 円

V 利用者状況

事業 月別	稼働日	ららら (定員 10)			るるる (定員 10)			ループ奏 計 (定員 20)		
		延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比	延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比	延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比
4月	22	191	8.7	86.9%	230	10.5	105.0%	421	19.1	95.7%
5月	21	168	8.0	80.0%	205	9.8	97.6%	373	17.8	88.8%
6月	22	184	8.4	83.6%	215	9.8	97.7%	399	18.1	90.7%
7月	23	165	7.2	71.7%	216	9.4	93.9%	381	16.7	84.0%
8月	20	148	7.4	74.0%	181	9.1	90.5%	329	16.5	82.3%
9月	22	181	8.2	82.3%	207	9.4	94.1%	388	17.6	88.2%
10月	23	202	8.8	87.8%	218	9.5	94.8%	420	18.3	91.3%
11月	22	198	9.0	90.0%	210	9.5	95.5%	408	18.6	92.7%
12月	21	187	8.9	89.0%	198	9.4	94.3%	385	18.3	91.7%
1月	21	186	8.9	88.6%	207	9.9	98.6%	393	18.7	93.6%
2月	20	167	8.4	83.5%	185	9.3	92.5%	352	17.6	88.0%
3月	22	190	8.6	86.4%	207	9.4	94.1%	397	18.0	90.2%
合計	259	2,167	8.4	83.7%	2,479	9.6	95.7%	4,646	17.9	90.0%

● 放課後等デイサービス あざみ

I 総括

今年度は、新型コロナウイルスの影響による2日間の事業所閉所や保護者の判断により基礎疾患を持つ子どもが利用を控えたことで、前年度対比で1日の平均利用人数が減少しました。令和4年4月から新1年生を4名受け入れましたので、また活気が増していくと思います。これまで以上に、日中一時支援事業との一体的な運営を生かせる在り方を考えていきたいと思っています。

日々の活動の中で、子どもの特性の理解を深めることを基本方針の一つに掲げました。定例の支援者会議では、支援者全員で意見を出し合い、支援方法を共有することができ、そこから一人一人の状況に応じた支援を

行うことに繋がりました。安定した環境という面では、子どものやれることを増やすためには、まずはやれる環境作りが大切だとして取り組みました。一方で、支援者の意図するところを子どもに伝える難しさや衝動性については対応しきれない場面もありました。また、あごみの中だけ整えても、学校や家庭から引きずってくる状況もあるため、連携の強化が必要だと感じました。保護者との信頼関係については、保護者の方々の気持ちも汲みながら、話す内容や伝え方を心がけてきた結果、良好なコミュニケーションが図れているのではないかと実感できています。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

基本的日常動作の習得については、個別対応で無理強いせず進めていく中で、ゆっくりながらもそれぞれがスムーズな動作を習得できてきていると思います。集団生活の中での安全性の確保や安心した生活については、相性や特性に配慮したグループ分けをし、建物内の部屋（交流室・面談室など）を活用し、必要に応じたパーソナルスペースの確保にも積極的に取り組みました。

学校・家庭との連絡について、浜北特別支援学校の夏休みに担当教員と情報交換の機会を設けていただきました。とても有効だと感じたので、これからも保護者も含めた三者間で常に情報交換・共有をする機会を設けていきたいと思います。創作活動については、やってみたい・作ってみたいという気持ちを持てる子どもについてはできていましたが、全員ができるわけではないと感じています。主体的に興味を持ってもらえるようなかわりや、そのための準備・環境作りをさらに工夫していきたいと思います。

余暇支援について、屋外では自然と触れ合える機会を設け季節の変化を楽しみました。掃除や枯れ葉集めなどに取り組むことで楽しみながら働くことの体験ができ、美化活動にも繋がりました。コロナ禍のため、室内の活動については、歌などの音楽活動を控えるなど制限がある中での活動となりました。

一人一人の行動特性を理解し、状況に合わせ、動と静を意識したプログラムで子どもの安定を図りました。子どもの発達や特性の理解と配慮、安全に過ごせる環境設定について、一定の成果は見られました。

地域の皆さんに事業所を知っていただくために計画した看板作りに着手できませんでした。コロナ禍で難しい面もありましたが、特に散歩を通して外出先で会った方たちと挨拶をしたり、広場にいらした地域の方々と触れ合いがあったりと、小さな繋がりは持つことができました。また、近所の駄菓子屋に行ったり、事業所紹介の掲示をしていただいたりという繋がりも持てました。

III 行事、防災訓練実施等

	行事	創作
4月	始まりの会	壁面飾り さくら
5月	こどもの日	こいのぼり 母の日プレゼント
6月	なし	壁面飾り あじさい
7月	たなばたまつり	七夕飾り
8月	買い物・外出体験（お菓子屋じろう）	

9月	なし	
10月	ハロウィン	ハロウィン衣装 お面
11月		壁面飾り もみじ
12月	クリスマス会 焼き芋（地活合同）	クリスマス飾り
1月		壁面飾り 鬼
2月	豆まき	ひな祭り顔はめパネル ひな人形
3月	ひな祭り 卒業生を送る会 頑張りましたの会	壁面飾り さくら
毎月	避難訓練	

IV 利用者状況

1 月別利用者数（定員 10 名 登録者 16 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	26	26	26	27	24	26	26	26	24	23	24	27	305
延利用者数(実績)	278	226	239	268	229	254	252	262	273	235	226	238	2,980
1日平均利用者数	10.7	8.7	9.2	9.9	9.5	9.8	9.7	10.8	11.4	10.2	9.4	8.8	10.7
稼働率(%)	106.9	86.9	91.9	99.3	95.4	97.7	96.9	100.8	113.8	102.2	94.2	88.1	107.1

2 曜日別利用者数

曜日	月	火	水	木	金	土・祝日	合計
年間日数(日)	46	49	48	50	48	64	305
年間利用者延人(人)	499	463	504	539	514	461	2980
平均利用者数(人)	10.8	9.4	10.5	10.8	10.7	7.2	9.8

3 学年別利用者数

学年	浜北特別支援学校	市立特別支援学級
小学1年～3年	2名	0名
小学4年～6年	5名	1名
中学生	2名	0名
高校生	6名	0名

● 日中一時支援事業 あるば

I 総括

学校と家庭との中間地点であるという認識を持って取り組みました。学校でがんばってきた子どもたちがリラックスして遊べ、気持ちを出せる場所として、支援者がどう関わっていくのかを話し合い共有できるよう努めました。地域生活支援事業である日中一時支援事業として、放課後デイサービスの一ヶ月の利用可能日数を超えてサービス利用を必要とする家庭が一定数あり、土曜日と祝日を開所しているあるばを他の放課後デイと併用していただいていることは、地域のニーズに微力ながら応えられている部分と捉えています。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

併設の放課後等デイサービスあざみと一体的に活動を行いました。あざみと同様に特性の理解や配慮をしながら、日常生活動作の習得や余暇支援に取り組みました。コロナ禍で活動制限がある中、子どもたちの気分転換や環境設定の一つの方法として、散歩を中心とした屋外での活動を行いました。

こだわりや衝動性、感覚過敏などの子どもの特性に配慮し、気持ちの安定のための方法や工夫について、保護者の方々と話し合う機会を多く持ち、共有しながら取り組みました。集団生活の中でみんなと一緒に過ごせるタイムスケジュールを立て直したり、支援者の声のかけ方なども子どもの状況に合わせて行うように配慮しました。排泄の支援も子どもの様子を見ながら個々に合わせた方法で進めていきました。

他の放課後デイサービスを併用するケースが多いため、新型コロナウイルスをはじめとした感染症予防については、事業所間・保護者からの情報を共有することにより感染拡大防止に努めました。

III 行事、防災訓練実施等

行事や防災訓練の実施は、放課後等デイサービスあざみと一体的に行っているため、あざみ参照。

IV 利用者状況

1 月別利用者数 (定員7名 登録者数18名)

(定員7)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	26	26	26	27	24	26	26	26	24	23	24	27	305
延利用者数	114	99	133	110	90	115	98	112	95	93	99	108	1,266
1日平均	4.4	3.8	5.1	4.1	3.8	4.4	3.8	4.3	4.0	4.0	4.1	4.0	4.2
稼働率(%)	62.6	54.4	73.1	58.2	53.6	63.2	53.8	61.5	56.5	57.8	58.9	57.1	59.3

2 サービス併用状況

あるばのみ利用	5名	週3日 固定した曜日に利用
あざみ・あるば併用	6名	あざみ主、支給超え時あるば利用
あざみ・あるば・他放デイ利用	2名	あざみ月～土、日曜他放デイ利用
他の放デイを主に利用	5名	他放デイ休日に利用(土、祝)

● はまきた地域活動支援センター

I 総括

コロナ禍が続く中、昨年度に引き続き全てのプログラムを予約制としました。予約制の仕組み変更や利用される方々のニーズに合ったプログラムを組むことで、予約という限られた枠の中でも多くの方が参加できるようになり、1日の平均利用人数が増えました。利用開始に至る流れとして、今年度は浜北・天竜障害者相談支援センターからつながる方が多い傾向にありました。現状、地域活動支援センターI型が浜松市内で3か所と少なく、浜北区内だけでなく市内の遠方からも来ていただいています。今後の取り組みとして、コロナ禍で予約制としていることで利用しづらさを感じている人がいるかもしれないことにも配慮する方法を考えていきたいと思います。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

利用される方々の「やりたい・やってみたい」という声を聞き、コロナ禍でも工夫することで季節の行事を毎月プログラムに取り入れて活動することができました。既存の少人数グループ(青春クラブ・昼下がりのいっぷく)の活動は、参加される方々も心待ちにしてくださっており、1年を通して実施しました。また、新たな取り組みとして、日中、仕事や福祉サービスを利用していない方を対象に法人通信配布や地活のお手紙郵送準備等を行うグループを発足し、定例化しつつあります。少人数グループについては活動を行う中で必要性を再認識しました。

地域とつながるきっかけになればと、なないろカフェがあるなゆた浜北周辺のゴミを拾いながら歩くエコウォーキングを月1回行い、毎回多くの方が積極的に参加してくれました。近隣の方々と挨拶を交わすことを大切にしながら、続けていきたいと考えています。

また、近隣の学生からボランティア活動をやりたいという連絡をいただきましたが、コロナ禍の状況が日々変化する中で実際の活動にはつながりませんでした。年間を通して新しいボランティアには出会えませんでした。継続して参加してくださっているボランティアの方々に支えられています。

III 行事、防災訓練実施等

創作活動	社会との交流促進	日常生活に必要な便宜を供与することに関する業務	医療福祉及び地域の社会基盤の連携強化のための調整	地域ボランティア育成関係	障がいに対する理解促進を図るための普及啓発等の事業関係
音楽の日 ちくちくクラブ 音楽鑑賞会 等	ミーティング いっぷく、昼下がりのいっぷく 卓球 ゲーム会 カラオケ 等	パソコン教室 つぶやきカフェ すいーつめもりー 等	相談支援事業所 タイアップで青春倶楽部（外出）	朗読カフェ 昼下がりのいっぷく パソコン教室 ちくちくクラブ	大学・看護学校・中学生へレクチャー
外出 イベント等	5月 テイクアウトランチ会 6月 テイクアウトランチ会 7月 避難訓練&お楽しみ会 8月 かき氷を食べよう(こなこなへ外出) 9月 洗車&ランチ会 10月 ランチ会 11月 焼き芋&ランチ会 12月 クリスマス会 1月 書初め&おしるこ会 2月 ミステリーテイクアウト会 3月 ひなまつり&お団子づくり ミステリーテイクアウト会				

IV 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
浜松市	221	95	198	139	140	133	150	130	128	123	136	146
磐田市	17	11	10	5	3	6	6	6	0	0	2	3
合計	159	137	147	164	142	139	190	188	184	179	173	167
1日平均	7.2	6.5	6.7	7.5	6.8	6.6	8.3	8.5	8.4	9.0	8.2	7.3

● 特定相談支援事業所 ぼるた

I 総括

東及び浜北・天竜障がい者相談支援センターや就労移行支援事業所からの新規ケースを多く受け持ちました。新規ケースを受け入れるにあたり、事業所との引継ぎ、アセスメントを丁寧に行い、ご本人、ご家族のニーズに応えるための計画書を作成しました。本人だけでなく、家庭全体や本人を取り巻く環境への支援が必要なケースは他職種、他機関と連携しながら今後の支援を検討していくことができました。

昨年度に引き続き、今年度も会議は主としてオンラインで行いました。会場への移動時間がなくなることは大きな利点ではありますが、会議をオンラインで行うことで積極的に意見が出しづらい難点もありました。また会議に参加し情報交換をすることで、地域の現状や新たな社会資源等の情報を得ることができ、資源を必要とされる利用者のみなさんへ情報提供を積極的に行いました。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

ご本人を取り巻く環境の変化があった方、将来の変化が予想される方へ新たなサービス利用の提案などを行うなど計画の見直しを行ってまいりました。ご本人の状況に合わせながら、場合によっては福祉サービス以外の社会資源の導入も行いながら、今後の生活をより充実したものとするためのお手伝いを利用者さんやご家族、関係機関と足並みを揃えて行うことができました。

地域とのつながりについては、エリア連絡会などの会議体への参加に加え、ケースに合わせて介護支援専門員、民生委員、スクールソーシャルワーカー等、本人やそのご家族へ関わりのある機関との連携も深まりました。また、ぼるたのある浜北・天竜エリアはもちろん、エリア外の障がい者相談支援センターと関わる機会も多くありました。日頃から該当エリアに居住されている気になるケースの相談にのっていただくなど、相談員としての「困ったことを気軽に相談できる」関係性を増やしていくことができました。

III 利用状況

1 実施人数と計画内容

実人数 140 人（※参考 令和2年度実績：114人、令和1年度実績：100人、平成30年度実績：99人、）

利用事業	就労継続支援A型	就労継続支援B型	就労移行支援	就労定着支援	自立訓練	生活介護	施設入所支援	短期入所	居宅介護	同行援護	グループホーム	利用契約のみ	合計
R3年度	23	40	13	6	3	27	2	48	31	2	5	0	200
R2年度	24	42	10	2	3	27	2	39	39	0	4	0	192

※実施人数と計画内容の合計数に相違があるのは、1人の方が複数のサービス利用をするケースがあるため

2 月別件数集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規計画数	5	2	2	1	1	2	3	2	1	0	2	5	26
モニタリング数	39	30	46	37	29	33	33	31	43	34	38	41	434
更新	7	3	7	12	11	8	11	8	12	10	19	3	111

事業報告書の付属明細書

- ・記載事項なし